



野垣あきこと まちづくりカフェ

HP はコチラ



2025年10月29日 No.234 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ！

西武新宿線は地下化に

下井草まちづくりラボ 道路・交通の課題解決に住民の声を

住民参加のワークショップ 区は多彩な意見を認めて

10月25日、杉並区主催の下井草駅周辺まちづくりの対話と学習の場、第8回下井草まちづくりラボに参加してきました。



駅やバス停はどうなるのか？

今回のテーマは駅前広場と交通結節点(異なる交通手段が接続されるロータリー等の場所)について。西武新宿線の野方・井荻間の鉄道連続立体交差化にも大きく関わる問題です。岸本聡子区長も出席し、対話の区政への感謝の意向が伝えられました。

区の説明と専門家のミニ講義

杉並区からは、整備目標と計画図(たたき台No.2)の説明がありました。計画図には交通結節点が駅の北側になること、215号線へのアクセスを整備とありますが、最適なのかは疑問です。ラボでは、これまでも立ち退きやゾーニング等、もつと様々な角度からの意見があったと思います。

グループワークでの意見は？

グループワークでは、盆踊りや子どもイベント、ベンチなど駅前広場の活用を出し合いました。

また、西武線連続立体交差化と

駅周辺のまちづくりによって、直接、間接的影響を受ける地域の権利者が複数存在します。私は住民の立ち退き



は最小限にする必要があるのでは？と提起すると、バス停は現状の南口のままで…という話しになり、他グループからも賛同が寄せられました。

他のグループでも、たたき台や講義の内容にとらわれず「バス停に屋根は欲しいけど線路は地下化で」「(地下化された)下北沢のような」「バス停はもっと外周に配置」等のアイデアも。参加者から多様な意見が出されることが対話の場の魅力です。

「交通結節点は北側」などの高架化前提と思われるようなメッセージではなく、これらの意見が記録に残され大切にされるべきではないでしょうか。

地下化を求める連絡会から

野方、鷺ノ宮、都立家政、下井草の住民で作る「西武新宿線地下化を求める連絡会」は22日に、ニュースNo.44を発行しました。

野方・井荻間は高架化でいいのか、鉄道地下化は複線シールドで検討を、下北沢の鉄道跡地利用、複線シールドの相模鉄道鶴ヶ峰駅付近の話などが載っています。興味のある方はお分けします。ご連絡ください。

旧若杉小跡地の活用方法(素案)に関するオープンハウスへ

10月24日、杉並区が荻窪駅北口で開催した「旧若杉小跡地の活用方法に関するオープンハウス」を見学してきました。

公園、共有施設の他、児童館保育園や消防の移転も

展示パネルには、これまでの地域との懇談、岸本区政のもとでの住民参加型のワークショップの取り組みなどが分かりやすくまとまっていました。▼

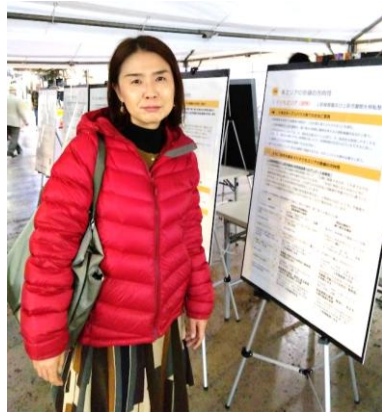


パネルを見ていく人には、職員の方から声をかけて説明をしたり、意見を聞いていました。

私は、住民やワークショップ参加者からの声を伝え、地域の区立施設再編の経過などから感じたことを職員と話しました。

子どもエリアと防災エリア

気になったのは上荻児童館と上荻保育園の移転です。上荻の保護者からは肯定的な意見もあるようですが、この地域ではゆ



▲小雨でテント内での展示に

必要とされるエリアと概要

公園エリア 誰でも気軽に利用、災害時に活用

共有エリア 誰でも利用できる屋内のフリースペース等

子どもエリア 上荻児童館と上荻保育園の移転整備

消防エリア 荻窪消防署天沼出張所を移転整備

うゆう館や集会所の統廃合が大混乱を招きました。前・田中区政による統廃合や玉突き計画に嫌気が差している地域住民にとっては、納得できる理由がなければ受け入れ難いと思います。

日大二高通りにある東京消防庁の荻窪消防署天沼出張所を移転する案も。木密地域のため避難所の充実は重要ですが、避出場所があることでの直接的なメリットはありません。周囲は道が狭く、消防車の出入りも今より不便になりそうです。

今の上荻児童館と保育園の跡地利用は決まっていなかったため、

天沼出張所をとの話もあるようですが、都と区の行政財産の交換となれば、熟考の余地があると思います。展示への意見は11月3日まで、以下からどうぞ。▼



住宅問題の悩みと要求も

展示を見ていた方は、「ここに区が安いマンションを作れないか?」「区内で家族4人だと家賃は20万円位するし、一軒家やタワマンなんてとても買えません…」と職員に話していました。子育て世帯も入れるような公営住宅を増やして、という大事な要求だと感じました。

原田あきら都議事務所

弁護士による法律相談

毎週 水曜・金曜
14時～16時

会場 日本共産党杉並地区委員会
高円寺南3-30-12
電話 03-3314-5551
(予約不要、先着順に受付)



あきこの部屋

ですが、今年は7月から収穫できていました。その年の気候にも大きく左右されるのだと改めて感じましたが、これ以上に気候危機が進むと、茗荷も人間も大変なことになりそうです…。

先週は雨が多く、とても寒い日が続いたので、ダウンジャケットを出しました。このまま冬になってしまふのかと身構えていましたが、今週は秋らしい気候になり、ホッとしています。

我が家の庭のプランターの茗荷も今年は終わりかな…と思いあまりちゃんと見ていなかったら、今週になって花が咲いていたので、すぐに収穫しました。

この茗荷は5年以上育てていて、収穫は毎年9～10月頃なの